

履 歴 書

見本

2027 年 11 月 4 日 現在

写 真

写真のデータをこの枠に
挿入してください。

ふりがな	あじあ たろう		
氏 名	亜細亜 太郎		
生年月日	2004 年 1 月 1 日生 (満 21 歳)		
ふりがな	とうきょうと むさしのし さかい あじああぱーと	携帯電話番号	
現 住 所	〒180-8629 東京都武蔵野市境5-8 アジアアパート206号室	090	1111 - 1111
帰省先電話・E-mail	自 宅	0422 - 36 - 3270	
	E - m a i l	学籍番号@asia-u.ac.jp	
年(西暦)	月	学 歴・賞 罰	
		学 歴	
2021	3	武蔵野市立亜細亜中学校 卒業	
2021	4	亜細亜高等学校 入学	
2024	3	亜細亜高等学校 卒業	
2024	4	亜細亜大学国際関係学部国際関係学科 入学	
2025	4	米国サンディエゴ州立大学留学 (5カ月大学正規プログラム)	
2028	3	亜細亜大学国際関係部国際関係学科 卒業見込	
		賞 罰	
2026	4	亜細亜学園奨学金 授与	
		以上	

資格・免許

年(西暦)	月	名称
2022	3	普通自動車免許AT限定
2024	11	日商簿記検定3級
2026	6	TOEIC625点

自己紹介書

氏名

研究課題または興味のある科目（ゼミおよび卒業論文テーマを含む）

ゼミ：〇〇ゼミ所属

研究課題：「アジア経済について」

クラブ・サークル課外活動・団体名（活動内容含む）

クラブ：届出団体「〇〇」

役職：主務

趣味・特技

趣味：アジア地域旅行・ジムに行くこと

特技：硬式テニス

学生時代に力をいれたこと

大学2年次に参加した5ヶ月間のアメリカ留学で、20カ国のメンバーが所属する異文化交流サークルイベント企画・運営リーダーを務めました。多文化の文化紹介やイベント企画する際、文化・価値観の違いやモチベーションの温度差から意見を一つにまとめることが課題でした。そこで、目的意識を統一するために目的やテーマを明確にすること、価値観や文化を尊重することを行いました。全員が発言しやすいよう、討論の前に匿名で意見を提出する時間を設けたうえで、議論する仕組みを導入しました。また、相手の価値観や文化を決めつけないことを大切にしながら、それぞれが納得のいくように意見を調整しました。結果、全員のモチベーションが高まり、団結してイベントの準備を進めることができました。イベントは大成功を収め、参加者の満足度の高い会となりました。この経験から、価値観を理解・尊重し、共通の目標に向けて調整するコミュニケーションを学びました。

私の特徴（セールスポイント）

相手の個性や視点に合わせて傾聴し、チーム全体の成長を促進する協調性です。高校時代の硬式テニス部で、指導係として後輩育成に取り組んだ経験で培われました。後輩たちは「レギュラーになりたい」という目標は持ちながらも、練習方法が分からず、伸び悩んでいる状況でした。そこで一人ひとりのテニスへの意識や目標をヒアリングしたところ、上達の焦りや先輩への遠慮があることがわかりました。ヒアリングを踏まえ、技術指導だけでなく練習への不安を解消するために練習の振り返り時間を導入しました。具体的には、後輩のレベルに合わせた練習メニュー作成をし、成功体験を積み重ねられる仕組みを構築、定期的に悩み相談の時間を設け、先輩後輩の垣根を越えて意見を交換しやすい環境を整えました。結果、後輩たちは積極的に練習に取り組むこと、先輩後輩同士の交流が増え部全体の士気を高まりました。この経験から相手視点の傾聴力、協調性を身に着けました。